

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-139	C-139	24-024	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
Alcohol Exposure and Disease Associations: A Mendelian Randomization and Meta-Analysis on Weekly Consumption and Problematic Drinking 飲酒と疾病の関連性：週あたりの飲酒量と問題となる飲酒に関するメンデルランダム化分析およびメタアナリシス			
執筆者			
Li M, Zhang X, Chen K, Miao Y, Xu Y, Sun Y, Jiang M, Liu M, Gao Y, Xue X, Li X.			
掲載誌			
Nutrients. 2024 May 17;16(10):1517. doi: 10.3390/nu16101517.			
キーワード			PMID
アルコール消費、問題飲酒、メンデルランダム化分析、メタアナリシス、 疾病リスク			38794754
要 旨			
目的： 飲酒が疾病負担に与える影響を評価し、飲酒パターンと疾病リスクの関連性を明らかにするため、遺伝的予測因子に関するメンデルランダム化 (MR: Mendelian randomization) とメタアナリシスを用いて、飲酒および問題となる飲酒に関連する健康リスクを統合的に評価することを目的とした。			
方法： Pubmed、Embase、Web of Science、Scopus の 4 つのデータベースを検索し、飲酒とゲノムワイド関連解析 (GWASs : Genome-Wide Association Studies)に関する MR 研究を対象とした。飲酒 (週あたりの飲酒量) と問題飲酒 (病的飲酒行動) を測定する 2 つの変数セットを使用し、FinnGen コンソーシアムの R9 リリースからの要約統計を用いて新たな MR 分析を実施した。最終的に、64 の既存の MR 分析と 151 の新たな MR 分析を含むメタアナリシスを行った。			
結果： 飲酒の遺伝的素因がパーキンソン病、前立腺肥大症および関節リウマチのリスクの低下と有意に関連し、慢性膵炎、大腸癌および頭頸部癌のリスクが増加することが示された。また、問題飲酒に対する遺伝的素因は、アルコール性肝疾患、肝硬変、急性および慢性膵炎および肺炎のリスク増加と強く関連していた。			
結論： 本 MR 研究により、飲酒および問題飲酒が多くて疾病リスクと関連していること、特に飲酒は主にリスクを増加させる方向で関連していることが示された。			